

ロボット支援下幽門側胃切除術における Book Binding Technique (BBT) の検討

◆ 研究の対象となる方

2024 年 6 月 1 日から 2025 年 5 月までに当院にてロボット支援下幽門側胃切除術手術を施行された方を対象とします。

◆ 目的・方法

ロボット支援下幽門側胃切除術は多関節機能のおかげで腹腔鏡手術に比べてより安全に行うことが可能となってきました。今後、現在当院で施行されている再建方法のデルタ吻合と Book Binding Technique を比較検討しそれぞれの長所や短所を検討します。

◆ 研究に使用する情報

年齢、性別、身長、体重、手術時間、出血量、合併症、入院期間など診療の中で得られた情報を使用します。

この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

◆ 個人情報の取り扱い

本研究の成果は学会等での公表を予定しておりますが、個人が特定されないよう加工した情報を用いますので、プライバシーは守られます。また、本研究以外の目的で使用することはありません。

◆ 研究への協力について

診療情報等が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象といたしません。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

問い合わせ先	福岡県済生会福岡総合病院 外科 本坊 拓也
	住所:福岡市中央区天神 1-3-46 電話:092-771-8151(代表)